

第4回予算決算審査特別委員会(2日目) 要点記録

開閉会日時		令和6年10月3日 木曜日		開会 10:00	閉会 11:46	会議場所	別海町議会議場 委員会室2・3		
議員の出欠	1 番	市川 聖母	出席	7 番	横田 保江	出席	13 番	中村 忠士	出席
	2 番	吉田 和行	出席	8 番	田村 秀男	出席	14 番	佐藤 初雄	出席
	3 番	高橋眞結美	出席	9 番	小椋 哲也	出席	15 番	戸田 憲悦	出席
	4 番	伊勢 徹	出席	10 番	外山 浩司	出席	16 番	西原 浩	出席
	5 番	貞宗 拓雄	出席	11 番	今西 和雄	出席			
	6 番	宮越 正人	出席	12 番	松原 政勝	出席			
出席説明員	理事者 機関の長等	町長		副町長		教育長		代表監査委員	
		曾根 興三	欠席	浦山 吉人	出席	相澤 要	出席	竹中 仁	欠席
		選挙管理委員長		農業委員会会長					
		永田 雅夫	欠席	信夫 重勝	欠席				
	幹部職員	総務部長		福祉部長		産業振興部長		保健生活部長	
		伊藤 輝幸	出席	干場 みゆき	出席	佐々木 栄典	出席	小川 信明	出席
		建設水道部長		教育部長		病院事務長		会計管理者	
		外石 昭博	出席	宮本 栄一	出席	三戸 俊人	出席	入倉 伸顕	出席
		農業委員会事務局長		監査委員事務局長		総務部次長兼総務課長		保健生活部次長兼町民課長	
		川畑 智明	出席	竹中 利哉	欠席	寺尾 真太郎	出席	谷村 将志	出席
		保健生活部次長兼保健課長		産業振興部次長兼水産みどり課長		建設水道部次長兼管理課長		建設水道部次長兼上下水道課長	
		千葉 宏	出席	小野 武史	出席	田畑 直樹	出席	新堀 光行	出席
		生涯学習センター長兼中央公民館長							
		福原 義人	出席						
	課長職 ほか	情報広報課長		総合政策課長		財政課長		税務課長	
		山田 哲哉	欠席	松本 博史	欠席	角川 具哉	出席	松田 勝広	出席
		防災・基地対策課長		西春別支所長兼西公民館長		尾岱沼支所長兼東公民館長		福祉課長	
		岩口 裕昭	欠席	小村 茂	欠席	大坂 恒夫	欠席	石戸谷 友絵	欠席
		介護支援課長		老人保健施設事務長		生活環境課長		農政課長	
		高橋 勇樹	出席	渡辺 久利	出席	上田 健一	欠席	皆川 学	欠席
		商工観光課長		建築住宅課長		事業課長		上下水道課技術長	
		掘込 美穂	欠席	廣島 静治	欠席	佐竹 和仁	欠席	袴田 充輝	欠席
		病院事務課長		学務・スポーツ課長		学校教育課長兼給食センター長		指導参事	
		椋木 直人	出席	斎藤 陽	欠席	池田 卓也	欠席	瀬川 航平	欠席

第4回予算決算審査特別委員会(2日目) 要点記録

	生涯学習課長		図書館長ほか		上下水道課主幹		上下水道課主幹	
	木戸口 誠	欠席	堺 啓	欠席	西田 和弘	出席	植松 拓也	出席
	財政課主査		町民課主査		介護支援課主査		老人保健施設主査	
	高橋 克彦	出席	小野 絵里	出席	天神 幸子	出席	佐藤 裕美	出席
事務局職員	事務局長	干場 富夫	事務局主幹		木幡 友哉	合計	2名	
傍聴者数	一般	0名		議会モニター	0名		議会サポーター	0名
	報道関係者	0名				合計	0名	

第4回予算決算審査特別委員会(2日目) 要点記録

会議に付した事件及び会議結果など

発言者	会議経過
委員長 8番 田村	10:00 開会
	開会挨拶
	出席委員16名、欠席委員0名、会期2日
委員長 8番 田村	令和5年度別海町国民健康保険特別会計決算審査
	歳入 区分項ごとに進める。
委員 一同	質問なし。
委員長 8番 田村	歳入終了
委員長 8番 田村	歳出 区分項ごとに進める。
	220ページ款4項2 特定健康診査等事業費
	事前質問答弁表 質疑No.61
	特定健診受診率向上事業 節) 委託料 細節) 業務委託料 4,072,233円
委員 13番 中村	①「みなし健診」を尾岱沼診療所において実施したとあるが、それについてはどのような評価をしているのか。
保健生活部次長 谷村	①特定健診の未受診者の方々の中には、定期的に病院に通院して、その都度病院で検査しているため、あえて特定健診を受診しないという声も聞いている。 このことから、特定健診項目と一致する方の健診結果の提供を受けることで受診率向上につながれていると考えている。
委員 13番 中村	①それが効果につながったという評価ということか。もう少し具体的に教えてほしい。
保健生活部次長 谷村	①健康増進と病気の早期発見という部分からなる健診向上事業であることから、効果はあると考えている。
委員長 8番 田村	221ページ款4項2 特定健康診査等事業費
	事前質問答弁表 質疑No.62
	特定健康診査等事業経費 11,258,075円
委員 13番 中村	①対象者数と受信者数を教えてほしい。
	②特定健診受診率向上事業の受診率とここでの受診率のどちらに主眼を置いて見るべきか。
	③みなし健診を推奨すると説明があるが、具体的にどうということか。
委員長 8番 田村	10:07 暫時休憩
委員長 8番 田村	10:09 再開
保健生活部次長 谷村	①対象者は3,079人、受診者は1,093人。
	②特定検診の受診率がまず入り口としてあることから、そちらが主と考えている。
	③本年度、受診者の方が尾岱沼診療所で受診されたときに、先生のほうから対象者の方に提供の促しをされ、提供していただいたものが今回の回答数字になっている。
委員 13番 中村	①尾岱沼で実施したということだが、西春別でも実施する考えか。
保健生活部次長 谷村	①西春別駅前診療所にも声掛けしていたが、実績がなかった。
委員長 8番 田村	歳出終了
委員長 8番 田村	会計全体で質疑あるか。
委員 一同	なし。
委員長 8番 田村	令和5年度別海町国民健康保険特別会計決算審査終了
委員長 8番 田村	令和5年度別海町介護サービス事業特別会計決算審査
	歳入 区分項ごとに進める。

第4回予算決算審査特別委員会(2日目) 要点記録

委員	一同	質問なし。
委員長	8番 田村	歳入終了
委員長	8番 田村	歳出 区分項ごとに進める。
委員	一同	質問なし。
委員長	8番 田村	歳出終了
委員長	8番 田村	会計全体で質疑あるか。
委員	一同	なし。
委員長	8番 田村	令和5年度別海町介護サービス事業特別会計決算審査終了
委員長	8番 田村	令和5年度別海町介護保険特別会計決算審査
		歳入 区分項ごとに進める。
委員	一同	質問なし。
委員長	8番 田村	歳入終了
委員長	8番 田村	歳出 区分項ごとに進める。
委員	一同	質問なし。
委員長	8番 田村	歳出終了
委員長	8番 田村	会計全体で質疑あるか。
委員	一同	なし。
委員長	8番 田村	令和5年度別海町介護保険特別会計決算審査終了
委員長	8番 田村	令和5年度別海町後期高齢者医療特別会計決算審査
		歳入 区分項ごとに進める。
委員	一同	質問なし。
委員長	8番 田村	歳入終了
委員長	8番 田村	歳出 区分項ごとに進める。
委員	一同	質問なし。
委員長	8番 田村	歳出終了
委員長	8番 田村	会計全体で質疑あるか。
委員	一同	なし。
委員長	8番 田村	令和5年度別海町後期高齢者医療特別会計決算審査終了
委員長	8番 田村	10:24 暫時休憩
委員長	8番 田村	10:26 再開
委員長	8番 田村	令和5年度別海町水道事業会計決算審査
		歳入 区分項ごとに進める。
委員	一同	質問なし。
委員長	8番 田村	歳入終了
委員長	8番 田村	歳出 区分項ごとに進める。
		26ページ 令和5年度別海町水道事業報告書 3業務 (1)業務量 事前質問答弁表 質疑No.63
委員	10番 外山	・再質問なし。
委員長	8番 田村	歳出終了
委員長	8番 田村	会計全体で質疑あるか。
委員	一同	なし。
委員長	8番 田村	令和5年度別海町水道事業会計決算審査終了
委員長	8番 田村	令和5年度別海町下水道等事業会計決算審査

第4回予算決算審査特別委員会(2日目) 要点記録

		歳入 区分項ごとに進める。
委員	一同	質問なし。
委員長	8番 田村	歳入終了
委員長	8番 田村	歳出 区分項ごとに進める。
委員	一同	質問なし。
委員長	8番 田村	歳出終了
委員長	8番 田村	会計全体で質疑あるか。
委員	一同	なし。
委員長	8番 田村	令和5年度別海町下水道等事業会計決算審査終了
委員長	8番 田村	令和5年度町立別海病院事業会計決算審査
		歳入 区分項ごとに進める。
委員	一同	質問なし。
委員長	8番 田村	歳入終了
委員長	8番 田村	歳出 区分項ごとに進める。
委員	一同	質問なし。
委員長	8番 田村	歳出終了
委員長	8番 田村	会計全体で質疑あるか。
委員	一同	なし。
委員長	8番 田村	令和5年度町立別海病院事業会計決算審査終了
委員長	8番 田村	以上で令和5年度別海町各会計決算審査の8件終了
		総括質疑の取りまとめを行うので委員会室2・3に移動願う。
委員長	8番 田村	10:30 休憩
委員長	8番 田村	10:40 再開
委員長	8番 田村	総括質疑について
		指摘事項、創意工夫に関する事項などの意見をいただく。
委員	1番 市川	<ul style="list-style-type: none"> ・乗合ハイヤーの空白地帯の考え方にずれがあるような気がした。 介護職員に外国人の受講を見据えて動き出していることはいいと思う。 酪農が厳しい状況という言葉だけでは間に合わない。今後、新規就農を考えた場合、厳しい中でも魅力ある別海町の酪農を、町職員に任せっきりでなく、議員も一緒に考える必要がある。 病院は医師がいないのでどうにもできない部分が多いと思うので、今後、医師が来た場合に期待したい。
委員	2番 吉田	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税関係の予算が多いが、チャレンジ的事業が多いと思うので、短いスパンで検証し、事業を展開していく必要があると感じた。 実のなる木植栽事業が当初の目的からずれて見通しが立っていないような印象。学校や地域に事業目的を伝えられるような改善を期待したい。 空き家対策事業は、業務委託をしているものの登録件数が1、2件と少なく、何が問題で進んでいないのかが見えてこない部分もあるので、今後もしっかり見ていきたいと思った。 農業の担い手関係で、年々受入れが減っている。新しい取組を行うなど、研修牧場の受入れ体制を強化していく必要があるのではないかと感じた。
委員	3番 高橋	<ul style="list-style-type: none"> ・町税収納率が12年連続で上昇しており、令和5年度の98.8%の収納率はとても高く評価する。

第4回予算決算審査特別委員会(2日目) 要点記録

	<p>国民健康保険税は収入未済が、現年課税未済額が12.4%増、滞納繰越額が6.1%増加し、合算で3,300万円となっている。今後保険料の値上予定とのことから注視したい。</p> <p>老人保健施設すこやかは、稼働率向上の取組をしていると思われるが、令和3年度の総括質疑の回答では、人件費抑制については、定年による退職職員の補充の際に、再任用制度の活用や、若年層採用の公募の見直しで改善に努めていくとのことだったが、年齢層の高い高収入の職員が多く介護員不足の世情を鑑みると短期間での人件費抑制は難しいと思われる。人件費抑制の結果を見ながら、コンサルティング活用の必要性を検討したいとのことだが、大変な状況下で仕事をしている職員に経営改善策を求めるのは難しいのでは。</p>
委員 4番 伊勢	<p>・地域おこし協力隊について、今現在で31名を確保できていることは、今後ますます期待できる。予算も確保され成果も上がっているが、3年間を経た後の起業や定住が重要と考えるので、今後に向けて期待する。</p> <p>病院については、駅前診療所の医師もいなくなり、尾岱沼診療所も近い将来どうなるかわからない。医師の確保については角度を変えて協議する必要があると思った。</p>
委員 6番 宮越	<p>・令和4年度と比較して不用額が減ってきており、執行率が良くなってきている印象。</p> <p>地域おこしについての事業については、町として有益だと考える。議会としても応援する必要があると感じた。</p>
委員 7番 横田	<p>・乗合ハイヤーの課題解消について知恵を出し合いながら考えていけたらと思う。</p> <p>病院について、中標津病院ではオンライン診療をしており、自身も受診したが、違和感なく対応できる。別海病院でも導入することで出張料の削減などに繋がるのではないかと感じた。</p>
委員 9番 小椋	<p>・ふるさと納税寄附金が安定財源ではないとしつつも、令和6年度の予算を見ると、依存度が上がってきている。財源充当してしまっている部分は決算で見えづらいので、来年度以降も注視する必要がある。可視化があればより適正な決算ができ、引き続き審査ができると感じたところ。</p> <p>地域おこし協力隊に関する事業は今後ますます増える。これまでの行政の事業とは毛色の違うものが増えてきているので、適正な執行だったかが判断しづらい。事業の総体的な部分はいいと思うが、決算審査という部分では進め方などの課題はあると思う。事業単位ではなく、移住者や地域の活性効果なども見ていかなければならないことになると難しいと感じる。</p> <p>酪農水産に関しては社会情勢が厳しい中での事業展開でマイナス方向の部分が多かったが、対処療法的な答弁が多く、次の展開に向けてのビジョンが希薄に感じた。</p> <p>給食について、食の安全、食育の観点から給食費の徴収範囲内の予算額でやりくりしていたところだが、無償化になって役場で予算を確保するようになったことで、これまでどおり経費を抑えつつ進めるのか、それとも物価高騰に予算増で対応するのか、観点をどこに置くのかを次年度以降見ていく必要がある。</p>
委員 10番 外山	<p>・不用額が40%ほど減ったのは評価できる。</p> <p>病院について、令和3年度以降、町の繰入金は約8億5,000万円前後を推移してきているが、今後増える予想となっている。医師確保について、計画があるのでその達成に向けて努力してほしい。</p> <p>地域おこし協力隊について、統括的組織が必要ではないかと感じた。</p>
委員 11番 今西	<p>・公債費について、借入金よりも償還額が上回っていることは安心点。</p>

第4回予算決算審査特別委員会(2日目) 要点記録

	<p>地域おこし協力隊が今後増えることによって、いかに協力隊員を動かすかなど、職員の共通認識、ノウハウが必要になると思う。</p>
委員 12番 松原	<p>・ふるさと納税は地域産業の活性化にもつながっている。そちらにも重点を置いて、制度があるうちは活用すべき。</p> <p>ふるさと交流館について、今後新たな井戸を掘る工事を行うなど費用がかかってくるので早期に町の考え方を示して町民に示すべき。</p>
委員 13番 中村	<p>・財政力指数が年々減っており、令和2年度比で△1.3ポイント、財源の余裕度が減っている。また、経常収支比率が80%を超えると弾力性が失いつつあるとされているが、90%を超えており財政の硬直化が進んでいる。こういった点を踏まえて今後の財政基盤を考えていかなければならないと思う。</p> <p>ふるさと納税のおかげで余裕のある町と捉えられがちだが、ふるさと納税の額が収入の4割を占める状態は、財政構造としてはいびつである。ふるさと応援制度に対する将来的見通しに立った財政的位置づけを明確にし、ふるさと応援制度の変更・廃止に対応できるような、ふるさと応援寄附金に依存しない財政基盤戦略を立てていく必要がある。</p> <p>地域おこし協力隊については、個人的に非常に期待をしながら見ている事業であり、部分的には成果を上げていと認められるが、事業が複雑化し、各事業間の重複が見られる。事業全体の整合性を図るとともに、町民への説明を丁寧にしていく必要がある。</p> <p>町のGX（グリーントランスフォーメーション）戦略を明確にし、ごみの削減、リサイクル率の向上、森林率の拡大等について、社会的な流れに沿って積極的に取り組む姿勢が足りないと感じる。未来に向けた明確な戦略を作るとともに、見える形で町民に発信する必要がある。</p> <p>農業経営継承支援、新規就農者支援といった制度が十分機能していない面が見受けられると思った。国の制度設計の見直しを含めて、方策を考えていく必要があると思った。</p> <p>国営かんがい排水事業に係る国営土地改良施設の維持管理事業について、想定外の発電停止があったとのことだが、前年度1月には申告されていたにもかかわらず、予算に組み込まれていなかった。本施設に関しては、これまでも対応が後手後手になっているような傾向にあることから、今後もしっかり見ていく必要がある。</p> <p>交通弱者に対する施策については、部分的な改善はあるものの、全町的視野で見ると格差が解消されていないことから、施策の拡大・充実が求められると思う。</p> <p>既存住宅耐震改修推進事業について、現状の分析が従来型で同じことを繰り返しているから進まないと思う。進められるような抜本的対策を考えていかなければならない。</p>
委員 14番 佐藤	<p>・今後人口減少を見据えた事業展開を行う必要があるのではないかと。</p> <p>病院の地域間連携が今後必要ではないかと。</p>
委員 15番 戸田	<p>・農業・水産業が大変な状況で、サケ漁は漁獲量が減り続けている。循環型経済の確立に取り組んでほしい。</p> <p>ふるさと納税に関しては評価できるが、それ以外の事業も頑張してほしい。</p>
委員 16番 西原	<p>・財政面の指標をどのように判断するかは財政課から研修を受けたいのではと思うが、令和5年度単年度で見た場合、基金を約50億円積み増しており、そのうち20億円を子ども子育て応援基金に積んでいることは、令和5年度決算としては非常</p>

第4回予算決算審査特別委員会(2日目) 要点記録

	<p>に評価できる。</p> <p>過疎脱却調査・研究事業として、地域おこし協力隊関連事業を行い、隊員が急激に人が増えていることに対して、どう判断していいのか難しい。SNSツールを使って隊員の活動報告をしているが、さらに見える化を進めてほしいということ、隊員が増えることによって、総合政策課のみでハンドリングを行うのは今後厳しいと思うので、調整機関のような組織的な体制づくりも検討する必要があるのではないか。</p> <p>過疎脱却調査・研究事業によって社会減対策は非常に積極的に行われているが、自然減対策との両立が必要。自然減対策に対する調査・研究も今後力を入れていく必要があるのではないか。</p> <p>物価高騰対策として、昨年度水道料の減免6か月は夏場の需要期ともタイミングがあったこともあり、非常に評価できるのではないかと思います。なお、決算とは違うが、今年の実施分については時期が悪いのでその辺の見極めをしてほしい。</p> <p>医師確保対策について、奨学資金支給事業で支給を受けている方と接点を持ち、別海に来てくれるような働きかけができないか、常任委員会で確認してほしい。</p>
<p>副委員長 5番 貞宗</p>	<p>・水産・酪農関係における、新規就農、後継者不足について、これからますます厳しくなると思うので、予算付けを強化する必要が今後出てくるのではないかと。</p> <p>今後、高齢者が増えれば、介護の問題や乗合タクシーの問題は即対応していかなければならない。</p> <p>介護の分野にも後継者不足対策、担い手不足対策を行う必要があると考える。介護施設における海外の研修生の受入体制を確立する必要があるのではないかと。</p>
<p>委員長 8番 田村</p>	<p>・一般会計は1億4,100万円を超える黒字決算で余剰金のうち8,000万円を財政調整基金に積み立てしており、経済状況厳しい中において、町税の収納率も98.8%という高率で12年連続収納率が上昇していることから、職員の努力に敬意を表したい。税という観点から正確な課税と公正な税負担がされるよう法令準拠で収納率維持向上を。</p> <p>不用額が約4億4,600万円となっており、前年比40.1%減とはなっているものの、各会計への繰出金、除雪事業費、根室北部消防事務組合負担金、給与費のほか、需用費に不要額が見受けられる。昨年度はふるさと応援基金の収入額が見込めなかったことから、寄附金を原資とする基金積立金に2億5,000万円を超える不用額が生じていたが、令和5年度はこの部分に関する不要額が0円であることから、その辺りを考えるとさらなる適正な予算編成と効率的な予算執行が望まれる。</p> <p>経常収支比率が93.6%、7年連続90%以上というのは、財政硬直化してると見るほかない。</p> <p>令和5年度のおもな政策の成果については、一般会計全体で223億5,190万円の事業を実施、これらは町民の福祉の増進、生活基盤の整備に寄与している。</p> <p>各事業の財源として、防衛関係の補助金・交付金、新型コロナウイルス感染症対応地方創成臨時交付金、物価高騰対応順天地方臨時交付金など、国庫支出金を有効に活用している。中でも、139億を超えるふるさと応援寄附金や過疎債が令和5年度の事業を実施するに当たり大きな財源となっている。恒常的な予算とはならないが、令和5年度の決算としては評価できる。今後も、財政調整基金の目標額20億円の達成も含め、財政健全化に向けた中長期的な財政計画の進捗状況を注視したい。</p> <p>国民健康保険特別会計については、320万円の黒字となっているが、国保税の収</p>

第4回予算決算審査特別委員会(2日目) 要点記録

		<p>納率が96.4%、前年度から0.1ポイント下がっているので注視したい。</p> <p>水道事業会計については、水道事業経営戦略に基づき、計画的な施設整備を進めた結果として、1億7,200万円を超える純利益を出している。</p> <p>町立別海病院事業会計については、8年ぶりに2億円を上回る純損失となっている。病院の経営改善には医師の確保が重要。</p> <p>下水道等事業会計については、一般会計から約1億2,000万円の繰り入れを受けた上で約2,200万円の純損失を出していることから、企業会計に変更したばかりでうまくいかないということは、経営の改善を見ていかなければならないかと思う。</p>
委員長	8番 田村	本日各委員から出された意見を正副委員長と事務局で整理した後、タブレットで各委員に確認していただき、了承いただければ町側に提出したいと思うが、異議はないか。
委員	一同	異議なし。
委員長	8番 田村	次回開催は町の回答を受けてからの回答となり、回答期限等を勘案すると10月30日頃となる予定。決定次第お知らせすることよろしいか。
委員	一同	異議なし。
委員長	8番 田村	閉会挨拶
委員長	8番 田村	閉会 11:46